井之川博幸市議の一般質問報告その3

特養の増設を要求

入所待機者は248人

井之川博幸議員は、市が、第５期沼田市高齢者保健福祉計画の策定にあたって行なったアンケートにおいて、施設入所希望の理由で「常に介護する人がいない等の理由で、自宅で生活することができないため」が７４．２％にもなっていることを示し、待機者にとっては切実な問題であり、特別養護老人ホームの増設を強く要求しました。

井之川博幸市議

市長は、「現状における待機者数は２４８人」であることを明らかにしましたが、「平成２１年度から２３年度の第４期計画において利根沼田圏域で９０床の増床計画があり、沼田市内でも２０床の増床が行なわれる。引き続き、県に働きかけていく」などと、県まかせにしている姿勢を示しました。

グループホームの増設も要求

井之川議員はつづいて、「認知症高齢者」の受け皿となっている、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の利用者計画では毎年１２０人以上の利用者増になり、H２６年度では１，５３６人になることを示し、施設の増設を求めました。

市長は、第５期計画で予定していた２個所を第４期で前倒しして整備することに変更し、２４年度に開設される。その利用状況等を踏まえ検討していく」と答えました。

利用料金に助成を

井之川議員は、施設自体も足りないが、利用料が高すぎて利用を断念せざるを得ない低所得の高齢者も多く存在することを示し、現在の利用料金はどのようになっているかを市長に質問しました。（右の＊につづく）

沼田市新年度予算情報

障害者虐待防止対策事業に266万円

昨年６月に成立した「障害者虐待防止法」が１０月に施行されます。市は虐待対応の窓口となる「センター」機能を設け、法律による通報義務等の制度の周知を図るPR事業が実施されます。

不燃ごみ処分民間委託費は８，９７４万円

不燃ごみは上川田町の最終処分場に埋め立てられていましたが、新年度からは、処分場がいっぱいになったということで、民間に委託することになります。民間事業者は、草津町や小諸市に設置されている民間処分場に運搬し埋立てを行なっています。

＊市長は、「特別養護老人ホームの標準的な例で、１ヶ月当り要介護５の人がユニット個室利用で介護サービス費用の１割負担分が２８，２３０円、食費が４１，４００円、居住費が５９，１００円となっており、合計１２８，７３０円が利用者負担。グループホームの標準的な例で、要介護３の人で１ヶ月介護サービスの１割負担が２５，９５０円、食費が３３，０００円、居住費が５１，０００円で合計１０９，９５０円が利用者負担額」と答えました。

井之川議員は、国民年金受給だけの高齢者はこれでは利用できない。利用料に助成し、だれでも利用できるようにするべきだと訴えました。

1ユニット（9人）の個室

新設されたグループホーム

２０１２年４月８日　No.６０３

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町 983　☎23－1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料